

# 夢と感動をありがとう



監督 山本 信也

最後に、甲子園出場はこれだけの多くの人が応援してくださるというところがあり、それが感じました。この応援はチームの根底に今後も生き続けると思っています。本当に多大なるご声援ありがとうございました。

そして、行きたいと強く願わなければいけない場所であることも感じました。今後は、今回の経験を踏まえて県はもちろんです、甲子園で勝ち抜くためのチーム作りを目指していきます。私は、現役で甲子園に行けなかったのが、選手やスタッフが連れて行ってくれたという感謝の思いがあります。と同時に、選手には野球で得たこと・甲子園で得たことを社会で通用するために繋げて欲しいと思います。

鹿屋・大隅の皆さんから多くの応援をいただき、選手はもちろんスタッフ一同本当に励みになりました。力強く温かい声援が、チームのエネルギーに変わりました。今回初めて出場してみて、選手が1番成長できる場が甲子園であると実感し、選手には毎年甲子園を狙わせたいと思います。

全国高校野球選手権鹿児島大会で優勝し、大隅初の夏の甲子園の切符を手に入れた鹿屋中央高等学校が大会3日目の8月13日に甲子園に登場し、見事初勝利を挙げました。続く2回戦で敗れましたが、最後まで粘り強く懸命にプレーした選手たちに、夜通しで駆けつけた大応援団や関西中から駆け付けた県人会の皆さん、パブリックビューイングで声をからして応援した市民、そして夢を追い続けた鹿屋・大隅の人々は万雷の拍手と声援を送りました。「夢と感動をありがとう」と。

## 鹿屋中央高校野球部 選手一言

**岡留 汰樹 (内野手) 背番号15**  
この仲間と甲子園で終わって本当に良かったです。親に励ましてもらったことでここまで来ることができました。後輩には、自分たちを超えて欲しいです。

**米澤 佑弥 (投手) 背番号10**  
多くの人に支えられ応援されて、ここまで来ることができました。目標としていた甲子園で最後に野球ができて本当に幸せでした。

**徳重 仁 (内野手) 背番号5**  
いろいろな人に迷惑を掛けてきましたが、チームメイトや親の支えでここまで成長できました。この経験をこれからの生活に活かしていきたいです。

**吐合 駿一郎 (内野手) 背番号6**  
大隅初の甲子園を夢にし、本当に3年最後の夏に来ることが出来て良かったです。きつい練習も、監督・3年生全員で支え合いチームが強くなれました。

**七島 拓哉 (投手) 背番号1**  
支えてくれたチームメイトがいなければ今の自分はいません。最高の仲間・指導者に出会えたこと、応援に来て下さった方々に感謝します。

**村崎 滉貴 (内野手) 背番号16**  
鹿児島市内から鹿屋中央高校に来て、大隅初の夏の甲子園を実現できて良かったです。後輩たちも甲子園でプレーして欲しいです。

**空地 大成 (投手) 背番号11**  
最終回にマウンドに上がり、短い時間でしたが、楽しい時間でした。最高の仲間と、3年間野球をできたことが誇りで嬉しく思います。

**川崎 拳士朗 (外野手) 背番号7**  
いろいろな人に迷惑を掛けてきましたが、甲子園という夢の舞台で野球をできたことが、本当に幸せでした。この仲間と野球をできたことが一生の財産です。

**山下 亮太 (外野手) 背番号8**  
大隅初の夏の甲子園、甲子園で1勝と、仲間、監督、たくさんの方々、親の支えによりここまでこられました。今までありがとうございました。

**川内 大地 (捕手) 背番号2**  
チームメイトともう野球できないことが悔しいです。チームの副キャプテンとして出来なかった事などは、今後社会のリーダーとして活かしたいです。

**廣森 大輝 (内野手) 背番号17**  
甲子園に出場するという夢を最高の仲間と叶えることができました。まだ、3年生の仲間と生活できるので、楽しんでいきたいです。

**橋西 大輔 (捕手) 背番号12**  
大隅初の夏の甲子園に出場した3年生20人と野球ができたことを嬉しく思います。今の3年生を超えられるように頑張ります。

**山下 亮太 (外野手) 背番号8**  
大隅初の夏の甲子園、甲子園で1勝と、仲間、監督、たくさんの方々、親の支えによりここまでこられました。今までありがとうございました。

**木原 智史 (外野手) 背番号9**  
初戦の後に、チームのみんなが声を掛けてくれ、監督が指導してくれた結果が2回戦に繋がりました。今のチームメイトは最高の仲間でした。

**大田 豪 (内野手) 背番号3**  
春から公式戦無敗、大隅初の夏の甲子園獲得、鹿児島県の甲子園通算90勝目を手にでき嬉しく思います。甲子園で最後終わったことを誇りに思います。

**迫田 悠佑 (内野手) 背番号18**  
チームでは、毎日が驚くことばかりで新鮮で楽しい日々でした。まだ1年あるので、これからはこのチームを超えることが目標です。

**西村 将太郎 (外野手) 背番号13**  
甲子園に行きたいという思いだけで島から鹿屋中央に進学しました。仲間との日々を胸に刻み、これから社会のリーダーとして頑張りたいです。

**木原 智史 (外野手) 背番号9**  
初戦の後に、チームのみんなが声を掛けてくれ、監督が指導してくれた結果が2回戦に繋がりました。今のチームメイトは最高の仲間でした。

**神田 耕太 (内野手) 背番号4**  
3年間きついこと・苦しいことがありましたが、仲間と乗り越えたことで今があります。この仲間と甲子園に来て本当に良かったです。

**本田 鈴佳 (記録員)**  
試合前日の夜にメンバーに入れなかった選手がボールを磨く姿に感動しました。甲子園でみんなのプレーを見ることができて本当に良かったです。

**初瀬 侑大 (内野手) 背番号14**  
仲間と裏方をしっかりできたことで、成長したと思います。ここまで成長した自分を両親に見せることができ嬉しかったです。

**木原 智史 (外野手) 背番号9**  
初戦の後に、チームのみんなが声を掛けてくれ、監督が指導してくれた結果が2回戦に繋がりました。今のチームメイトは最高の仲間でした。

**神田 耕太 (内野手) 背番号4**  
3年間きついこと・苦しいことがありましたが、仲間と乗り越えたことで今があります。この仲間と甲子園に来て本当に良かったです。

